



★キャラクター名  
**NIPOPPO ちゃん**  
 (ニホポ)

★プロフィール  
 「ニホポ」とは、アイヌ語で「木の小さな子(人形)」という  
 意味で、海上安全を、水難除けの御守として出ている。  
 かつて樺太地方にて作られていたが、戦後、祖産に伝え  
 られた。(日本の民話1 北海道 研考出版より)

「NIPOPPO ちゃん」は羊蹄山の麓の瑞らかな水の流れる場所  
 聖地に生える高い木の一部分から生まれる。  
 鼓、おりに四方へ飛ん立つ草の出来る蝶を身に付け  
 舞を奏しにやり、お茶も菜漬も変え、蝶も感情を持つ。  
 中には1つも小枝を持っているが、小枝も巨木に変化する。  
 人はつこく、動物と大の仲よし。  
 怒ると不動明様の人相となり、争かつけられぬ。  
 笑うと地上高く舞い上がる。  
 泣くと大空に水玉が出来る。  
 空を飛ぶ草も出来る。  
 大木に手をまわるとニホポちゃんか飛んおて草か  
 出るかも…  
 ニホポ ちゃんは北海道から世界の平和を願っている。